

第1回「イクボス式教育」フォーラム

「これからの人材育成と子ども教育とは」

～子どもの力を信じよう～

偏差値だけでいいのですか？ 受け身の習い事は、子どもの自立に役立ってますか？

今、企業が求めている人材は、「問題解決能力」、「コミュニケーション能力」、「遂行する能力」、「失敗から学ぶ能力」、「チームワーク能力」、そして「臨機応変に対応する能力」などを有している「人財」です。一言でいうと「自律型の人」でしょうか。

AI（人工知能）が急速に発達し、小学生の65%が今は無い職業に就くと言われている現在、上記のような能力を有している「自律型人財」が、更に求められてくるでしょう。

現在、姉妹NPOであるファザーリング・ジャパンが展開している「イクボス」は、イクボス企業同盟への加盟企業が数百社を超えました。また、47都道府県の知事が、続々イクボス宣言し日本中に広がっています。私がイクボスの定義と10か条を作った際に、「自律型の部下や社員を育む」ために「部下のチカラを信じよう」というフレーズを入れ、各企業・行政の講演で現場を回って行く中で、多くのリーダーに共感を得ています。

そう、求められる資質は、親と上司ともに原則が同じということです。そこで、コチカラ・ニッポンでは、自律型人財を育むために、「子どものチカラを信じよう」というコンセプトで「これからの子ども教育とは」を「イクボス式教育」と名付け、皆様にご提示してまいります。



フォーラム概要

日 時：2017年2月24日（金）18:30～20:45（18:00 受付開始）

会 場：文京区 区民センター（2-A会議室）

都営三田線・大江戸線「春日駅A2出口」徒歩2分、東京メトロ丸ノ内線「後楽園駅4b出口」徒歩5分
東京メトロ南北線「後楽園駅6番出口」徒歩5分

定 員：180名

参加費：無料

主 催：NPO法人コチカラ・ニッポン（NPO法人ファザーリング・ジャパンの姉妹団体）

登壇者： 高橋 俊之（立教大学 特任准教授）
高倉 千春（味の素株式会社 グローバル人財マネジメント 部長）
青野 慶久（サイボウズ株式会社 代表取締役社長）
安藤 哲也（コチカラ・ニッポン 理事）
林田 香織（コチカラ・ニッポン 理事）
中原 久子（コチカラ・ニッポン 副代表）
川島 高之（コチカラ・ニッポン 代表）

モデレーター：浜田 敬子（AERA前編集長）

申込先：<http://www.kokuchpro.com/event/kodikara20170224/>



NPO法人コチカラ・ニッポン

子どものチカラで、企業や地域、家庭などが輝く。仕事や家庭の場で大人に役立つことを通じて、子どもは伸びていく。「子どもと大人の双方向性」により、「実践を伴った子ども教育」と、「企業や地域などの発展」という2つを同時に達成することが、当法人の活動目的です

